

ファイナンスに関する説明資料

(12月10日付 株式及び第18回新株予約権の第三者割当)

株式会社イグニス

2018年12月10日

本ファイナンスの意図するもの

経営陣がVR事業の
成功に責任を持つ

既存株主を配慮し、
2019年内は希薄化を
コントロール

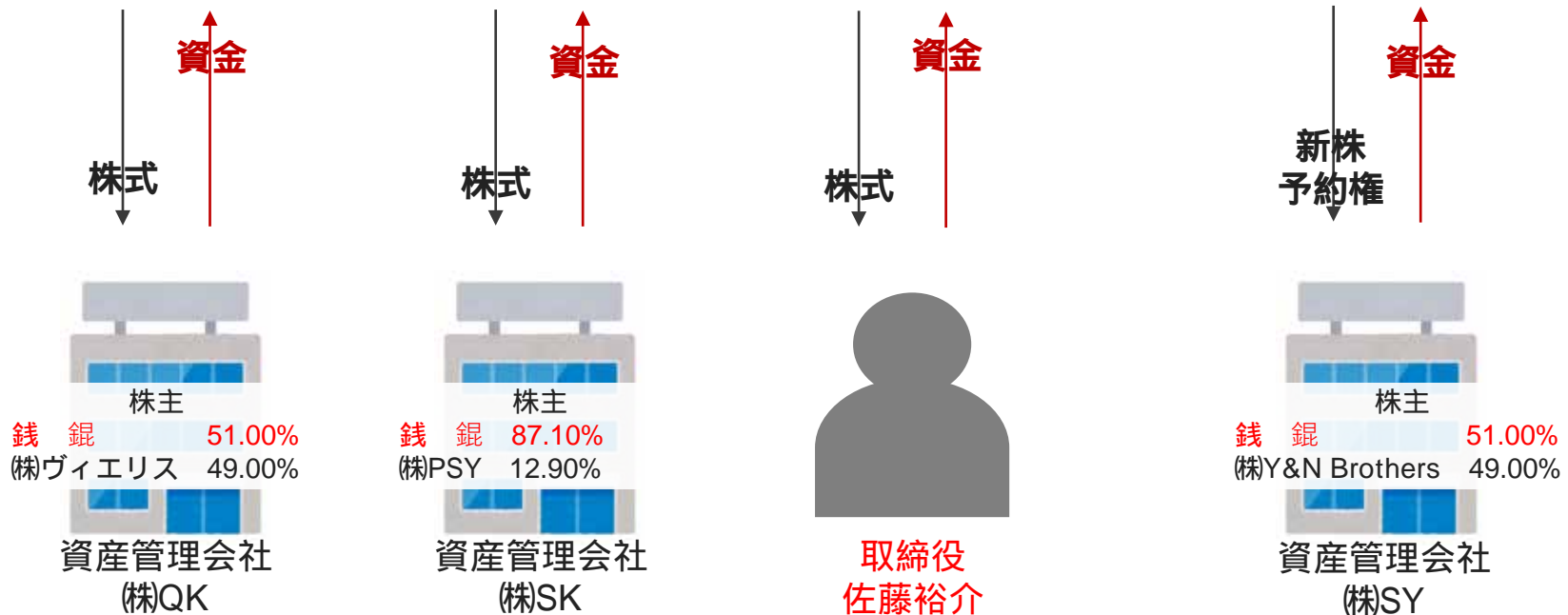
第14回新株予約権の行使状況が芳しくない

今後の事業展開に自信があるため
代表取締役 銭の資産管理会社および取締役 佐藤が資金提供

本ファイナンスのスキーム

調達総額：1,241百万円

IGNIS



< 財源 >

「自己資金」および「各資産管理会社の株主から借入」

本ファイナンスのスキーム

新たな希薄化は発生しないようコントロール

2019年内は第14～16回新株予約権による潜在株式数（170万株）を
超えない水準で潜在株式数（希薄化）を調整します

資金調達のイメージ 1

当初調達予定（合計） 2

本資金調達を含めた調達予定

発行に伴う潜在株式数
1,700,000株

発行に伴う潜在株式数
1,700,000株

希薄化へ配慮（潜在株式数）

第14～16回新株予約権
による資金調達を調整

第14～16回新株予約権

第14～16回新株予約権
及び
新株式 & 第18回新株予約権

本調達予定額
約12億 3

調達済：約2億

1 2018年12月10日時点でのイメージ図となります。

2 第14～16回新株予約権：当初行使価額（第14回：3,050円、第15回：5,000円、第16回：7,000円）で考えた場合の調達予定額は72.4億円

3 新株式の一部失権・第18回新株予約権の未行使が生じた場合でも、最低約6億円調達可能

本ファイナンスの目的

VR事業の成功に責任を持ちます

中長期のVR事業成長を見据えたサービス開発・運営

Virtual Live Platform「INSPIX」
の開発推進



IP（タレント等）
の発掘・育成・プロデュース等

資金使途

調達予定額

VR事業の開発・運営のための
人材採用等に係る人件費



10.9億

専用スタジオ建設等の
コンテンツ拡充の投資



1.5億

Virtual Live Platform 「INSPIX」

Phase3まで完了させるため、積極的に開発中

開発完了

Phase1



既存動画配信サイトへの
ライブ生配信

Phase2



特定の場所に集まって
体験するバーチャルライブ

開発中

(2019年9月期完成目標)

Phase3



様々な端末を使用し
自宅からでも
バーチャルライブに参加

VR-HMD に依存せず、
様々な環境で同時生配信を可能にする新しい音楽体験

VR-HMD : VR-Head Mounted Display 頭部装着ディスプレイ

IP発掘・育成・プロデュース

自社IPのファン数拡大及び大型他社IPとの協業開始

VRアイドルユニット

岩本町芸能社×パルス

『えのぐ』



合併会社ミラクルプロのプロジェクト

ジャストプロ×パルス

『米(マイ)プリンセス』



ボイスタープロジェクト

ボイスター×パルス

『第1期 ハイスクールチルドレン』



AIアイドルプロジェクト

パルス

『VAI』



現在進行中のファイナンス概要

<本ファイナンス>

	新株式	第18回 新株予約権
発行方法	第三者割当 (株)QK、(株)SK、佐藤裕介 (株)SY	
調達予定額	12.4億円	
手取概算額	12.4億円	
発行新株 予約権数	—	2,126個
発行による 新株式数/ 潜在株式数	673,200株	212,600株
発行価額/ 当初行使価額	1,411円	1,411円
下限行使価額	—	988円
行使価額の修正	—	有
希薄化率	6.5%	
新株予約権 行使期間	1年間	
行使停止条項	—	一定の条件の下、 行使許可の停止が可能

<既存のファイナンス (a)>

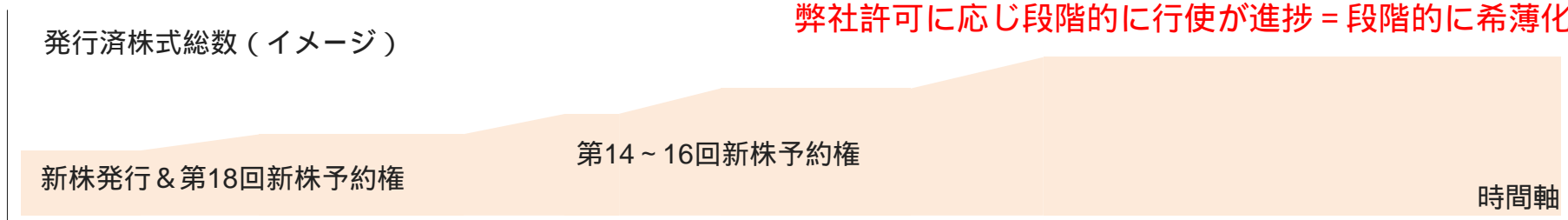
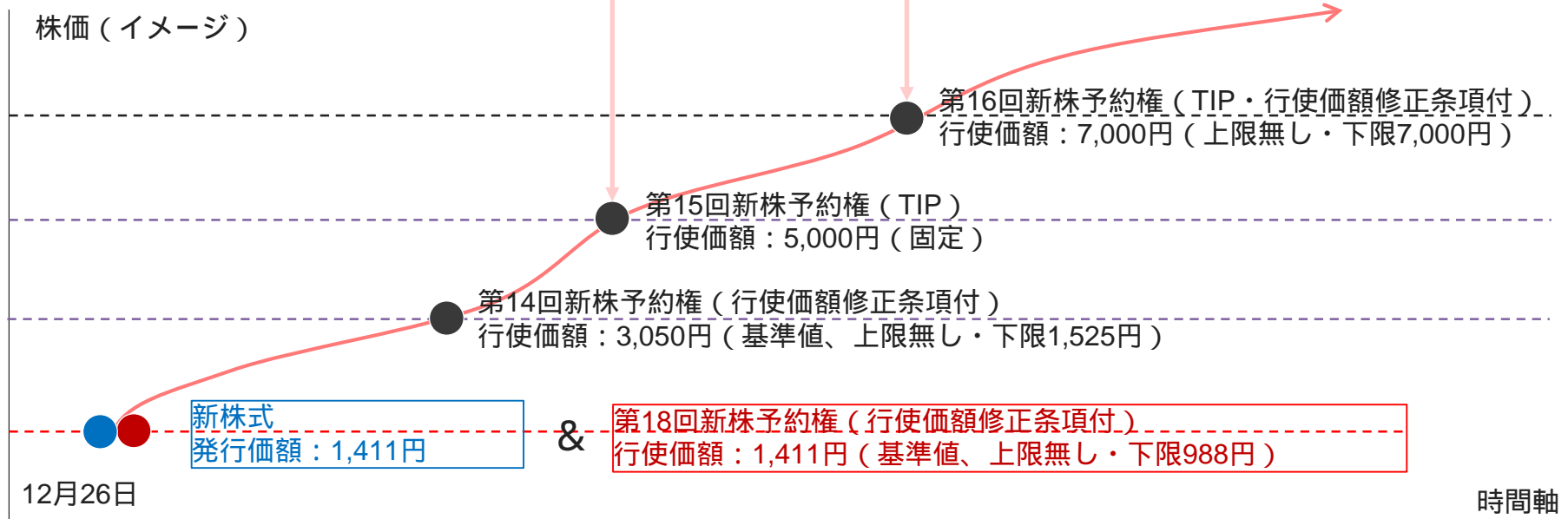
	第14回 新株予約権	第15回 新株予約権	第16回 新株予約権
発行方法	第三者割当 ドイツ銀行 ロンドン支店		
調達予定額	72.6億円 (b)		
手取概算額	72.4億円 (c)		
発行新株 予約権数	10,000個	3,500個	3,500個
発行による 潜在株式数	1,000,000株	350,000株	350,000株
当初行使価額	3,050円	5,000円	7,000円
下限行使価額	1,525円	無	7,000円
行使価額の修正	有	無	有 (d)
希薄化率	12.7%		
新株予約権 行使期間	3年間		
行使停止条項	有		

- (a) 記載の第14回～16回新株予約権の概要については2018年3月5日時点の開示情報に基づいた記載です。
 (b) 調達予定額は、本新株予約権の発行価額の総額及び本新株予約権の行使に際して出資される財産の額の合計額です。
 (c) 本新株予約権の行使期間中に、行使価額が修正又は調整された場合、行使が行われない場合、消却された場合には、手取概算額が増加又は減少する可能性があります。
 (d) 当社取締役会において行使価額修正選択権の行使を決議した場合には、行使価額修正条項が適用されます。(下限行使価額は7,000円となり、上限行使価額はありません。)

現在進行中のファイナンス概要

< 新株予約権行使価額と株価の関連性イメージ >

ターゲット・イシュー・プログラム (TIP)
当社事業の成長・拡大に伴う将来の株価上昇を見越して設定した2パターンの行使価額によって、段階的に新株式を発行
株価が上昇して初めて希薄化



弊社許可に応じ段階的に行使が進捗 = 段階的に希薄化

将来見通しに関する注意事項等

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは現在における見込、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

また、本資料は、当社の第三者割当による株式及び第18回新株予約権の発行に関する情報の提供を目的としたものであり、一切の投資勧誘又はそれに類似する行為を目的とするものではありません。

適時開示やプレスリリース、決算説明資料等の公開情報に記載された内容以外については、基本的に個別での回答は控えさせていただきます。

東京証券取引所を通じた適時開示や当社の公式ホームページ・公式SNS・公式動画の情報以外で、インターネット上に展開されている「株式掲示板」、「各種SNS」、「ブログ」内における書き込み内容には、当社の公式発表ではない情報も含まれております。

そのため、これら情報に関しましても基本的に回答は控えさせていただきます。